

平成30年度 第1回旭区区政会議【全体会議（平成30年6月25日開催）】における「追加意見等」への対応方針

※分類

- ①当年度（平成30年度）において対応
 ②平成31年度運営方針に反映または平成31年度に対応予定
 ③平成30年度では対応できないが、今後引き続き検討
 ④対応困難または対応不可
 ⑤その他

番号	委員名	意見	分類	対応方針	備考
●平成29年度 旭区運営方針について					
1	岡 委員	戦略1-1 1. 城北公園フェア 音楽などステージも年々充実し人出も多く、お祭り要素満載で良いと思う。ただ、ビール、出店など大人中心がメインに出ている印象がある。小学生の孫を連れて行ったが遊ばせる所があまり無かったとの声も何人かの方からお聞きした。	③	【市民協働課（まち魅力）】 「城北公園フェア」は、旭区の重要な地域資源である城北公園を活用し、飲食を中心としたイベントを開催することで、区内外からの集客を図り、地域魅力の向上につなげる事業として開催しています。6回目の開催となった今年度からは、主催を執行委員会とし、企画段階から、区内の商業・産業団体や地域団体などに関わっていただくことで、より区民に親しまれ、かつ区内の活性化につながるイベントをめざしたところです。 お子様と一緒に楽しんでいただく趣向としては、しょうぶちゃんなどご当地キャラクターとのふれあいやファミリーステージでの「ファミリー体操」、メインステージでの「くまモンPRステージ」「アニソンステージ」に加えて、今回新たに大道芸ステージを設けるなど工夫されておりましたが、ご意見をいただいた点については、主催者である実行委員会にその趣旨を伝え、次年度の開催に向けて検討を働きかけてまいります。	
2	岡 委員	戦略1-1 2. 一般紙における旭区の魅力発信 どのような内容のものだったのか。	①	【市民協働課（まち魅力）】 読売・朝日・毎日・産経・大阪日日の新聞5紙に旭区関連の記事が掲載された件数を実績としております。内容は、「城北公園フェア」が2件、「城北菖蒲園」が2件、「旭区内の3高校による合同文化祭」が2件及び「小中学生対象のスマホ白熱教室」が1件となっております。今後も、積極的に報道機関への情報提供を行い、イベント等の紹介記事はもとより、「旭区ブランド・お宝」といった旭区の魅力をさらにPRできるよう取組を進めてまいります。	
3	岡 委員	戦略1-1 3. 音楽等集客要素を取り入れた区内商店街との連携イベント 3月19日の旭区の文化を考えるシンポジウムを思いだし、旭区には連携できる“音楽”が“文化”がいろいろあると思った。ここをつなげて効果的に発信していくのが区の役割とおもうのだが。	③	【市民協働課（まち魅力）】 「音楽の祭日」や「旭ミュージックフェスタ」などの音楽イベントをつなげて、旭区の文化魅力として効果的に発信することについて検討してまいります。 【市民協働課（市民協働）】 「旭区の文化を考えるシンポジウム」をきっかけとして、旭区内で文化に携わる団体が集う「（仮称）旭区文化団体協議会」を立ち上げる動きにつながっており、区役所としても積極的に立ち上げ支援を行ってまいります。	
4	岡 委員	戦略1-2 1. 地域活動協議会の運営支援 各校下での地域課題は中にいて考えていることと外から客観的に見ると違いがあると思う。地域のいろいろなデータなどから“地域カルテ”（これは昨年の資料に出ていて注目しているものです）を示されるととても参考になると期待しているのだが。	①	【市民協働課（市民協働）】 今後、地域カルテを活用したワークショップの開催等、地域ごとの課題を客観視し、解決に活かしていけるような運営支援を実施してまいります。	
5	岡 委員	戦略1-3 1. 子ども110番の家 目印の旗が色あせている物などを見るが、充分機能しているのか。助かった利用例などご紹介いただけるとういのだが。	①	【市民協働課（市民協働）】 市民協働課（市民協働）に申し出ていただければ、新しいものを配布できます。具体的な事例は把握できておりませんが、子ども達がより利用しやすいように、商店や事業所などへの拡大に向けて努力してまいります。	
6	岡 委員	戦略3-1 1. 防災体制について 今回の地震で避難所として集会所が使われたようであるが、それぞれの地域の集会所は耐震補強がされているのか。	③	【市民協働課（市民協働）】 地域集会所については、耐震補強されていないものもあります。地震の際の避難所については、基本的に耐震補強がなされている学校施設を利用することになっております。	
7	岡 委員	戦略4-1 1. 広報あさひは催し物などいろいろな情報がコンパクトにまとめてあるし、“旭区長のはなだより”も毎回楽しみに読んでいます。周りにもそういう方が多くいる。区長さんの写真がいつも同じなのでできたら、その時その時の区長さんのお顔に変えて頂けたらと思う。	⑤	【総務課（企画調整）】 広報あさひの記事を楽しみに読んでいただきありがとうございます。区長の顔写真については、公式用（2種類）を使っておりましたが、その時々で区長の写真を使用することについて検討します。	
●その他					
8	横田 委員	6/18の地震に対するご対応、お疲れ様でした。対策本部と日常窓口業務の両方をされたとのこと、大変だったと思う。地震の影響で来所の区民の方は少なかったと思うが、出勤できた職員の方もまた、少なかったのではないかと実は、私の職場で、区役所に書類を発行して頂く必要があったので伺った。職員の方が来られていなかったため、用事は果たせなかった。当日絶対必要と言うわけではなかったため、出直せたが、鉄道はほとんど止まっていたし、徒歩、自転車あるいはバスのみで通勤出来る方は少数だと思われる。災害時のみに着目した人事など出来るはずもないと分かっているし、日常業務は後回し無理からぬことと理解している。しかし、将来に向けて、徒歩、あるいは自転車で区役所に辿り着ける方にもう少し増えて頂きたい。	③	【総務課（庶務）】 地震当日の区役所窓口業務においては、体制が十分でなかったことから、来庁された皆様にご不便をおかけしました。当日は、9時までに出勤できた職員は36%であり、13時時点においても76%という状況でした。 職員の居住に関しては、区長のみ30分以内に出勤できるよう必要に応じて災害対策用職員住宅の制度があるものの、他の職員については定めがなく、大部分の職員が市外居住となっております。 当区役所においては、災害対策上、初期初動体制を担うため、区長以下19名を緊急区本部員に指定しているほか、他所属の区内居住職員26名を直近参集者として登録し、初期初動体制の強化を図っているところです。 今回のように市内で震度6弱を観測した場合、自動的に1号動員として、全職員が指定の参集場所に出勤し、市役所の全力をあげて防災活動に従事することとされている中で、24区役所が独自に窓口業務を実施する判断をしたことについての検証は、今後大阪市全体でなされるものと考えております。 なお、区役所職員の配属において、近距離居住者をより多く配置することについては、人事異動を所管する人事室とも協議の上、検討してまいりたいと考えております。	